



稼働を開始した「JA きたそらち精米施設」



竣工式：柏木組合長による施主挨拶



組合員・管内市町民による施設見学

深川市メム地区に、昨年9月末より建設していた「JAきたそらち精米施設」が3月中旬に完成し、6月3日より稼働を開始した。

最新鋭の精米機やフルカラー色彩選別機、最新の異物除去用選別機などを整備し徹底した品質管理を行うことで、より高品質で安心・安全な製品の出荷が可能となった。また積極的な視察の受け入れにより、産地精米の安心と衛生管理工場による安全からなる「きたそらちのお米」の発信力を拡大させていく。

JAきたそらちでは、ホームページとFacebookで、魅力満載の情報を発信中です！ ぜひ、ご覧ください！



～目次～

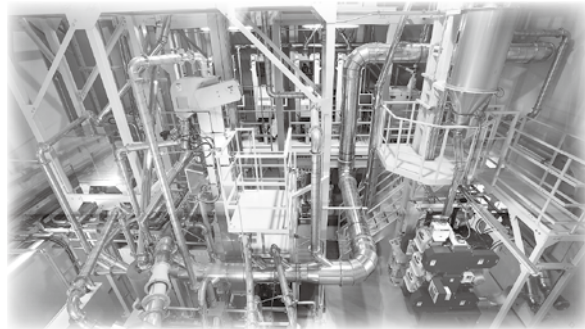
- ◆「JAきたそらち精米施設」
完成 — 2～3
- ◆深川市の小学校で
田植え体験学習 — 5
- ◆すいか・メロン
各地区で出荷開始 — 8～9
- ◆幌加内高校1年生が
蕎麦の施設見学 — 10

「JAきたそらち精米施設」 完成

深川市メム地区に昨年9月末より建設していた「JAきたそらち精米施設」が3月中旬に完成し、外構工事を経て、6月3日より稼働を開始した。新施設は既存の精米施設（雨竜精米工場）と比べ、3倍超の処理能力をもつ。実需や消費者への直接販売を拡大し、生産者の所得向上と米の主産地としての知名度・ブランド力向上を図っていく。

施設は鉄骨造、建床面積は約千平方メートルで、管内の米を集約し精米処理する。精米施設の核となる最新鋭の精米機は、米へのダメージを軽減する3段階摩擦方式の精米により高品質な白米に仕上げる。さらにフルカラー色選別機や最新の異物除去用選別機などを整備し徹底した品質管理を行うことで、食品衛生管理の手続きを定めた国際基準「HACCP」の認証取得も目指す。またガラス張りの工場内で、製造工程を“見える化”し、工場内と区画された見学者通路により、いつでも視察の受入れが可能となった。積極的に視察を受入れ、産地精米の安心と衛生管理工場による安全からなる「きたそらちのお米」の発信力を拡大させる。

国費補助、JA管内1市3町の支援・協力を得て完成に至った。



精米室全体



見学者用通路

精米工程のご紹介（※一部抜粋）



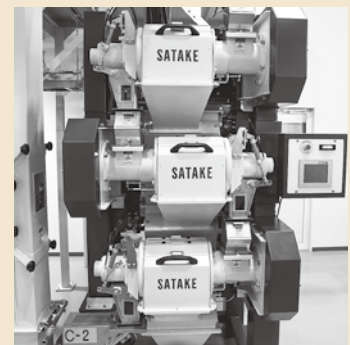
フルカラー光選別機

高性能フルカラー CCD カメラ・近赤外カメラにより選別します。
4基を2基ずつに分け並列配置し、1つの米を2度がけすることで確実に不良粒を除去します。



無洗米加工装置

精米したお米に少量の水を加え、タピオカを入れてかき混ぜることにより糠がタピオカに吸着します。
お米に無理な力も熱も加えず、化学薬品も一切使用しない加工方式です。



精米機（摩擦三段式）

「ミルコンボ（摩擦三段方式）」は、低圧摩擦による三段階精米により、米表面の糠層だけを優しく削り取ります。また、米粒表面のキズが少ないため、炊飯時の粒感がよく、経時変化での劣化が少ない、おいしさ長持ちの新精米方式です。



施設で実際に精米・包装された10kg袋

米穀課職員が施設を案内し、安全で安心なお米を届けるための精米工程を説明した。

深川市に住む参加者の男性は、「施設を見学することで、消費者としても安心・安全を知ることが出来て良かった」と感想を述べた。

6月22日に行われた施設の一般公開では、管内の組合員や一般市町民など約40名が訪れ新施設を見学した。

5月27日に行われた竣工式には、当JA柏木孝文組合長を始め、深川市、雨竜町、北竜町、幌加内町などの関係者60名が出席し、施設の繁栄を祈願した。

施主挨拶において柏木組合長は「地域の稲作を守るための中核施設が無事完成した。『きたそらち米』という新たなブランド米を飛躍させ、これまで以上に実需や消費者に選ばれる産地を目指す」と挨拶を行い、来賓の山下貴史深川市長からは「新精米施設は全国有数の米どころ北空知にとって更なる戦力であり、より多くの方々に地域のブランドを知って頂ける良いきっかけとなる」と謝辞が述べられた。

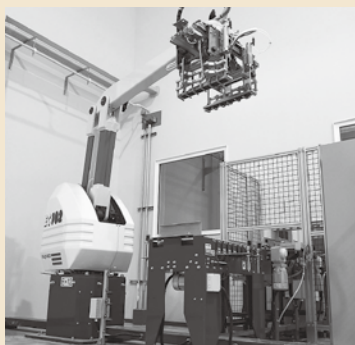


敷地面積：9,962.17㎡ 縦床面積：1,008.97㎡

生産能力：年間 /3,000t 月間 /250t

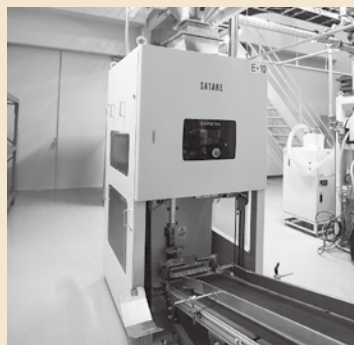
日間 /12.5t (平均) 15.6t (最大)

設備概要	玄米タンク	4t × 4 基
	玄米精選設備	
	流下式選別機	10t/ h × 1 基
	石拔機	5t/ h × 1 基
	精米機 (摩擦 3 段式)	3t/ h × 1 基
	ロータリーシフター	3t/ h × 1 基
	精米精選設備	
	フルカラー色彩選別機	1.5t/ h × 4 基 (2 基並列配置 2 回がけ)
	金属検出器	3t/ h × 1 基
	レスキューソーター	3t/ h × 1 基
	無洗米設備	
	無洗米原料タンク	2t × 1 基
	小型無洗米加工装置	0.5t/ h × 1 基
	無洗米色彩選別機	0.5t/ h × 1 基
	無洗米製品タンク	2t × 1 基
	計量タンク	3 t × 4 基
	包装出荷設備	
	流下式選別機	10t/ h × 3 基
	糠玉除去機	3 基
	磁性体除去機	3 基
	フレコン計量器	10t/ h × 1 基
	小袋包装機 (半自動)	5 袋 / min × 1 基
	紙袋用自動包装機	100 袋 / h × 1 基
	全自動包装機	600 袋 / h (5kg) × 1 基
	金属検出器付ウェイトチェッカー	2 基
	ロボットパレタイザー	600 袋 / h × 1 基



ロボットパレタイザー

オートロールパッカーで包装された 5kg 袋と 10kg 袋を自動でパレットに積む機械です。



オートロールパッカー

5kg 袋・10kg 袋を自動で包装する機械です。



レスキューソーター

新型 CCD カメラにより、石やガラス片・プラスチック片などを除去する、異物専用の除去機です。

きたそらち和牛改良組合 和牛受精卵採取・移植を実施

5月23日、グー・エンブリオ・テクノロジー（株）と北海道中央農業共済組合（NOSAI道央）の技術支援を受け、和牛受精卵採取と移植を行った。

北空知地区では、同JAとJA北いぶきの酪畜農家で構成する「きたそらち和牛改良組合」が、市場価格に左右されない優良繁殖基礎牛の増産を目指し、2014年から受精卵移植の取り組みを続けている。

受精卵移植は、遺伝的に優良な供卵牛（ドナー牛）から受精卵を採取し受卵牛（リシピエント）へ移植を行う。この日は深川市内の採卵所に牛を集約し、グー・エンブリオ・テクノロジー（株）の獣医師を含む職員4名が、深川市と滝川市の9頭から採卵後、黒毛和牛12頭と交雑種37頭、ホルスタイン1頭の計50頭へ高品質な新鮮卵を移植した。

販売部畜産課の担当職員は、「受精卵移植を行うことで優秀な血統を残し、産地強化と生産者の所得向上につながれば」と期待を込める。今年度は3月から12月までに計10回実施し、採卵150頭、受精卵の移植500頭を計画している。



採取した受精卵の検卵作業



和牛改良組合の組合員と
グー・エンブリオ・テクノロジー（株）の職員

【畜産課 小野】

販売部

横山製粉（株）社員研修で北竜支所を産地視察

5月27日、当JA北竜支所で横山製粉（株）による社員研修が開催された。

同社では、管理職社員の小麦とそばに関する栽培知識の向上を目的に、本年より同研修を開始しており、同社からそばの産地指定を受けている当JA北竜支所がそばの研修先に選ばれた。

この日は、同社代表取締役の横山敏章氏を含む7名の管理職社員が来所し、北竜支所営農課職員から当JAの概要説明を受けた後、北竜町畑作生産組合 藤井二郎顧問の案内で北竜支所管内を視察した。

同社は今後も、そばの収穫時期まで当JA管内で複数回の視察研修を計画している。



【農産課 斉藤】



深川市の小学校で

田植え体験学習

5月下旬から6月上旬にかけて、深川市内小学校5校による田植え体験学習が行われた。同市では地域に根ざした特色ある教育の一環として、小学校5年生を対象に水稻の農業体験学習に取り組んでいる。

児童たちは、市職員や組合員、青年部などの協力を得ながら、組合員宅、深川市農業センターのほ場で田植えを体験した。初めて水田に入る児童も多く、ぬかる足元に苦戦し泥まみれになりながら夢中になって苗を植えた。

児童たちは、この後水稻の生育について学び、秋には収穫体験を行う。

【営農企画課 石野】



5月20日深川小学校(農業センター)



5月23日一巳小学校(農業センター)



5月23日多度志小学校(竹内 誠氏宅)



5月24日北新小学校(松本孝一氏宅)



6月4日音江小学校(澁谷英夫氏宅)



農業
振興部

酪農大・北大生による 農業実習を実施

5月23日から25日の3日間、酪農学園大学(江別市)と北海道大学(札幌市)の学生による農業実習が実施された。農業現場での実践的な体験を通して農業の魅力を伝えることなどに加え、田植え時期の労働力不足解消に繋げるため農業体験と労働力のマッチングが可能か試験的に実施するという目的で、両大学の学生18名が授業の一環として参加した。

今回が初めての試みであり、衛星利用測位システム(GPS)付き田植え機など先進的な技術を取り入れている生産者や食農教育活動を実践している青年部員など音江地区の4戸が受け入れた。

学生は、育苗ハウスから苗をはがす作業や苗運び、田植え機に苗を補給する作業などを手伝った。参加した学生は、「農業の現場を直接目で見て実際に体験することで、農業に対するイメージをつかむことができた。進路について考えられるいい機会になった」と話す。

今後、受け入れ先や地区を増やすなど規模を拡大させ、この取り組みを続けていく予定。

【営農企画課 一戸】





※前列右から、1人目：古賀浩平、2人目：松本拓磨、
5人目：浅井裕貴、6人目：庄司拓巳
※後列右から、1人目：菅原浩道、2人目：大廣渉、
3人目：田丸凌伍、4人目：鹿島孝善、5人目：宮原松治
※上段右から、1人目：吉田隆雄、2人目：佐藤マルコ、
3人目：佐藤大地、4人目：黒田伸一

令和元年度 新規就農者 激励状贈呈式

農業
振興部

令和元年度 新規就農者

支所(地区)	氏名	支所(地区)	氏名
深川(一已)	古賀 浩平	雨竜	大廣 渉
	松本 拓磨	幌加内	黒田 伸一
深川(音江)	吉田 隆雄		田丸 凌伍
	佐藤マルコ		鹿島 孝善
	佐藤 大地		宮原 松治
深川(納内)	浅井 裕貴		
	庄司 拓巳		
	菅原 浩道		

6月5日、今年度の新規就農者激励状贈呈式が行われ、新規参入やUターン、新規学卒など13名の新規就農者のうち9名が出席した。役職員が見守る中、柏木組合長から一人ひとりに激励状が手渡された。柏木組合長は、「それぞれの就農先で家族や仲間とコミュニケーションを取り、地域農業の発展のために営農に勤しんで欲しい」と激励の言葉を贈った。

出席者を代表して、古賀浩平さん（一已地区）が「日々、営農技術が発展していく中で良い技術を取り入れ営農に活かし、進化し続ける営農者を目指したい」と力強く決意表明した。

【営農企画課 石野】

経済部

JA きたそらち

刈払機の展示即売会を開催

5月31日、同JA営農センター前特設会場にて刈払機の展示即売会を開催し、多くの来場者で賑わった。モデルチェンジした最新の草刈機や刈払機用替刃をはじめ、田植え後のほ場管理に使う農機具が店頭に並んだ。来場者は、メーカー担当者からオススメ商品や最新の刈払機などの説明を聞き、お目当ての農機具を買い求めた。

同展示会は、管内各地区の農機・自動車整備工場でも開催された。

【資材推進課 中村】



旬の青果物が続々と出荷開始!

青果部

青果部の野菜集出荷施設では、続々と旬の野菜の出荷が始まっている。当JA管内の青果物の生育状況は、5月に入り気温・日照時間は平年より高く推移し順調に生育しており、6月は低温傾向で管理作業に苦勞したが、品質の良いものが出荷されている。

なお、胡瓜・グリーンピーマン・まるかじりトマトは、道の駅農産物直売所「eciR」でも販売している。

【青果課 川本】

胡 瓜



5月26日より、胡瓜の出荷が始まった。この日は、きたそらち胡瓜生産組合（本瀬修二組合長、組合員23戸）の古賀浩平さんと東原政雄さん（ともに一已地区）がSからLサイズ計39ケース、208kgを出荷した。定植後は天候が良く気温も高く推移したため、順調に生育が進み、昨年より1日早いスタートとなった。

同生産組合では今年度、約10.6haに作付し、約30万ケース、4億3千万円の売上を見込む。

同日、共選作業も始まり、8規格に分け1箱5kgで札幌や名古屋の市場を中心に出荷する。

さやいんげん (ピテナ)



5月31日、さやいんげん（ピテナ）の出荷が始まった。この日は、きたそらち豆類生産組合（石橋裕司組合長、組合員44戸）の中西重則さんと高畑耕一さん（ともに北竜地区）が、Mサイズを中心に14箱（2kg/1箱）を出荷した。本年は4月に入ってから天候にも恵まれ、前年より4日早い初出荷となった。

今後は徐々に出荷量も増え、出荷のピークは9月となり関西市場を中心に10月中旬まで出荷が続き、約5千万円の売上を見込む。

夏秋苺



6月2日より、夏秋苺の出荷が始まった。夏秋苺は主にケーキ用として販売されるが、一部生食用でも販売する。この日はきたそらち苺生産組合（尾崎雅一組合長、組合員8戸）の宝利秀次郎さん（音江地区）が、大きな粒の「3L」という規格を中心に約6kgを出荷した。本年は春先からの天候にも恵まれ、前年より4日早い初出荷となった。

今後は徐々に出荷量も増え、旭川市場を中心に11月中旬頃まで出荷が続き、約1千6百万円の売上を見込む。

グリーンピーマン



6月7日より、グリーンピーマンの出荷が始まった。この日は、きたそらち果菜生産組合（折野哲也組合長、組合員7戸）の（株）三谷農園（音江地区）がM規格を中心に約50kgを出荷した。前年より2日遅い初出荷となった。

当産地のピーマンは「ピクシー」という品種で、果肉はやや厚めで炒めても食感が良く、他のピーマンに比べ苦味成分（クエルシトリン）が少なく子供にも食べやすい品種となっている。道内及び名古屋の市場へ向けて10月下旬まで出荷が続き、約2千万円の売上を見込む。

まるかじりトマト



6月7日より、まるかじりトマトの出荷が始まった。きたそらち大玉トマト部会（土居健一会長、会員4戸）の高尾義弘さんがM～Lサイズを中心に計32ケース約128kgを出荷した。今年は好天の影響もあり順調な生育で、昨年より6日早い開始となった。

札幌方面を中心に10月上旬まで出荷販売を予定している。市内2戸で約9,000ケースの出荷、約1千万円の売上を見込む。

すいか・メロン

各地区で出荷開始

青果部

各地区ですいかとメロンの出荷が始まり、次々と選果場に運び込まれている。深川市道の駅内の農産物直売所「eciR」や雨竜町道の駅「田園の里うりゅう」、北竜町道の駅直売所「みのりっち北竜」などで販売も始まった。

ひまわりすいか



初出荷した渡辺組合長（前列中央左）と妻の文江さん（前列中央右）

6月6日、北竜町特産の果肉が黄色い「ひまわりすいか」が初出荷された。この日は、ひまわりすいか組合（6戸）の渡辺俊成組合長が4玉から6玉入り計21ケースを出荷した。昨年より苗の定植は1日早く、出荷は2日早まった。「定植後の寒暖差が昨年より激しくハウス内の温度管理に苦労したが、糖度の乗りが良く上々の出来となった」と渡辺組合長は笑顔を見せる。

翌7日には、札幌の丸果札幌青果（株）と旭川の（株）キョクイチで初せりがあり、札幌で秀5玉1ケース3万円、旭川で秀4玉1ケース5万円で取引された。今年の出荷ピークはお盆時期で約1万6千ケースを出荷し、約4千5百万円の売上を見込む。

マダーボール

6月9日、ラグビーボール形が特徴の小玉すいか「マダーボール」が初出荷された。この日は、きたそらちマダーボール生産組合（谷本徹組合長、会員13戸）の高田敬大・大輝さん兄弟（雨竜町）と三上洋さん（北竜町）、川本和幸さん（北竜町）が4玉から6玉入り計20ケースを出荷した。4月中旬に定植し、好天の日でも夜温が低いなど温度管理に苦慮することもあったが、例年より6日出荷が早まった。糖度は12度と高く上々の出来となった。

同生産組合は今年約1.26haに作付しており、今年は約6,200ケースの出荷を見込む。出荷は10月中旬まで続く。



初出荷した高田さん兄弟（右から2、3人目）と三上さん（左から3人目）、川本さん（左から2人目）

北斗メロン



初出荷した橋本さん（左から2人目）

6月19日、豊潤な甘みが特徴の赤肉メロン「北斗メロン」が初出荷された。この日は、北斗メロン生産協議会（伊井清隆会長、23戸）の橋本健さんが1ケース4から5玉入り計15ケースを出荷した。今年は天候にも恵まれ昼夜の寒暖の差などメロンにとって恵まれた生育環境が続いた。この日行われた糖度検査では糖度18度と例年よりも高い数値となった。出荷は昨年よりも5日早まった。

「安心・安全の面には特に気を使って作ったのでぜひ皆さんに美味しく食べてほしい」と橋本さんは笑顔で話す。

翌20日の（株）キョクイチの初せりでは、秀5玉1ケース10万円で取引された。

「北斗メロン」は、同協議会が約3.6haに作付けしており7月中旬をピークに秋まで出荷が続く。今年は1万1千ケース、4千万円の売上げを見込む。

6月20日、香りがよく糖度の高さが特徴の青肉メロン「暑寒メロン」が初出荷された。この日は雨竜メロン部会（橋本貴之部会長、会員26戸）の大橋一夫さんが、1ケース4玉入り計7ケースを出荷した。今年は天候が良く気温も例年に比べ高く推移したため、概ね順調に生育し、この日行われた糖度検査では、糖度18度と例年より高い数値を出した。出荷は昨年より1日早まった。

「今年は雨が少なかったため、病気の発生が少なく管理がしやすかった。甘くておいしいものができたので沢山食べてもらいたい」と大橋さんは笑顔で話す。

「暑寒メロン」は、同部会が約4.1haで栽培しており、今年は1万5千ケースの出荷を見込む。出荷は8月中旬まで続く。

雨竜暑寒メロン



初出荷した大橋さん(中央)と妻の玲子さん(中央右)

北竜ひまわりメロン



初出荷した渡辺さん（前列中央左）

6月13日、爽やかな香りと甘さが特徴の青肉メロン「北竜ひまわりメロン」が初出荷された。この日は、北竜メロン生産組合（前田規文組合長、30戸）の渡辺靖範さんが、1ケース4から5玉入り計10ケースを出荷した。

5月下旬の高温などにより温度管理等には非常に苦労したが、昨年よりも4日早く、過去15年の中でも一番早い初出荷となった。「糖度が16.0度と甘さ充分のメロンを作ることができた」と渡辺さんは笑顔で話す。

翌14日の旭川の（株）キョクイチの初せりでは、秀5玉1ケース10万円で取引された。

「北竜ひまわりメロン」は、同生産組合が627aで栽培しており、7月中旬をピークに9月上旬まで出荷が続く。今年は2万3千ケースの出荷、1億円の売り上げ目標達成を目指す。



深川支所

ボランティア野菊 視察研修

6月10日、ボランティア野菊の会（竹内接子会長、会員9名）が小樽市で日帰り研修を行った。研修先は、北海道で初めてロウソクを製造する会社として昭和11年に同市内に創業した（株）フジ本芳川商会の工場で、会員はロウソクの製造工程の見学や「小樽雪あかりの路」に飾られることでも有名な『ワックスボウル』の制作を体験した。

ワックスボウルの制作体験では、約70℃に熱したロウの中に水風船を出し入れし、外側に付着したロウの厚みが5mmになると、中の水風船を割り、外側に押し花などの飾りを貼りつけロウでコーティングするという工程で作業を行った。「ロウに入れた水風船を約150回も上げ下げする作業で腕が痛くなり苦戦したが、最後は満足のいく作品を作ることが出来た」と笑顔で話す会員もいた。今後の活動についての意見交換も行い、会員同士がより交流を深めた研修となった。

なお、ボランティア野菊の会では、地域ネットワークのお弁当作りや多度志生活支援ハウス「しらゆりの里」での傾聴ボランティア、環境美化などを行っており、一緒に活動する仲間を募集している。

【深川支所 田中】

幌加内高校1年生が蕎麦の施設見学

6月7日、幌加内高等学校1年生10名が、当JA幌加内支所のそば関連施設「そばの牙城」「雪乃御殿」「そばの実工房」を見学した。同校では、生産面積・生産量ともに日本一を誇る幌加内町の特産品「そば」を活用した教育に取り組んでおり、栽培や収穫、手打ち実習などを授業で学ぶ。

職員の案内で、そばがどのように精選、乾燥調製されるか説明を聞き、雪乃御殿では貯蔵された大量の雪を見て驚く場面もあった。また、そばの実工房ではどのようにしてそばの殻を剥いているかを学び実際にむき実やそば殻を見ながら熱心に説明を聞いていた。

【幌加内支所 下津】



幌加内支所

深川支所年金友の会

ゲートボール大会

6月14日、深川支所年金友の会（金谷義雄会長、会員597名）のゲートボール大会が菊水コミセンゲートボール場で開催され14名が参加した。

大会当日は晴天で絶好のゲートボール日和となり、参加者は3チームに分かれて対戦した。各チーム楽しみながら熱のこもったプレーを繰り広げ、坪井チームが優勝した。

【金融共済深川支所 大島】



雨竜支所年金友の会 第20回定期総会

6月12日、雨竜町公民館において、雨竜支所年金友の会（林良範会長、会員618名）の第20回定期総会が、会員123名参加のもと開催された。

林会長の開会挨拶に続き、来賓の遠藤清明雨竜地区代表理事が日頃の農協事業の利用に対するお礼と、今年の農作業状況や現在の農業情勢などを報告した。

議事では、議長に新田重男さんを選任し、平成30年度収支決算や令和元年度事業計画案などが原案通り承認された。

総会終了後の懇親会ではビンゴ大会が行われ、大いに盛り上がり親睦を深めた。

【金融共済雨竜支所 高瀬】



懇親会でビンゴを楽しむ会員



北竜支所年金友の会

パークゴルフ大会

金融
共済部

6月10日、北竜支所年金友の会（山下好晴会長、会員427名）が、北竜ひまわりパークゴルフ場で第18回親睦パークゴルフ大会を開催した。当日は好天に恵まれ、会員35名が4コース36ホールを回り、北清裕邦北竜地区代表理事や職員も参加した。参加者は一打ごとに一喜一憂し楽しくプレーした。

※成績は下記の通り

	男 性	女 性
優 勝	田中 成亮さん	四辻 明子さん
準優勝	四辻 進さん	大路恵津子さん



【金融共済北竜支所 西村】



経済部資材課での資材業務

北海道信連実習生 農協実習を修了



青果部青果課での道の駅直売所勤務



深川支所営農課での水稻育苗巡回



柏木組合長（中央）と河野さん（右）、八柳さん（左）

4月15日から5月29日までの45日間、本年度のJA北海道信連（北海道信用農業協同組合連合会）新採用職員の農協実習が当JAで行われ、河野稜さんと八柳匡さんが資材課をはじめ、深川支所営農課、青果課、渉外課、深川米穀施設課などで多岐にわたる農協業務を体験した。

5月18日からは柏木孝文組合長宅で田植え作業を体験し、育苗ハウスからの苗の運搬や補充作業などを一生懸命こなした。実習を終え、河野さんは「JAの幅広い業務を経験し、各事業の密接な関わりを知ることが出来た。JAの役職員の皆様が親身になって接して下さり有意義な実習となった」、八柳さんは「JAの具体的な業務の取り組みや組合員との距離感などを体験し、JAの事業について深く知ることが出来た。JAの役職員の皆様には何事も丁寧に教えて頂きとても勉強になる実習だった」とそれぞれ感想を残した。

6月から河野さんは同信連帯広支所、八柳さんは同信連本所業務部に配属された。

深川東高校2年生が 職場体験学習



6月12日と13日の2日間、深川東高等学校の2年生2名が当JAで職場体験学習を行った。同校では実社会における体験を通じて、生徒に社会人としてのマナーや知識を身に付けてもらうことを目的に実施しており、当JAでも地域貢献のために毎年受け入れを行っている。

JAや地域についての概要説明の後、総務部でデータ入力などの事務職を体験した。2日間の体験を終えて、「この地域がそば作付日本一であることが非常に印象に残った」「普段できない体験ができて非常に良かった」とそれぞれ笑顔で感想を話してくれた。

【人事課 廣田】

経済部 燃料課からのお知らせ



ストーブ分解整備受付中



長年使用しているストーブを寒い時期に故障が起きないように整備しませんか？
火が大きくなり、円筒ガラスが曇っている、床暖の暖まりが悪いなど気になることがあればシーズンオフの時期に分解整備をして安心の冬を迎えましょう。

ストーブ分解整備料金（一部抜粋）

タイプ	基本整備料金 (8%税込)	参考型式
床暖ツインヒーター	¥43,600	UHB、UHF-〇〇TBFS
FF式床暖内蔵型	¥29,400	UH-F、UFH-〇〇UKF
煙突式床暖内蔵型	¥26,200	UH-〇〇系、UFH-〇〇UKC
FF式壁置輻射（大型）	¥23,000	FF-〇〇系、FFR-DF、KF、SF
FF式壁置輻射（小型）	¥19,400	FF-V、VT、VY系、FFR-〇〇BL
煙突式壁置輻射タイプ	¥17,200	SV-〇〇系、KSH系
煙突式壁置タイプ	¥16,300	KFH-UKC、USC
煙突式角型両面タイプ	¥15,500	KSH-〇BS

★部品代は別途加算されます。

★お客様宅より取外してお預かりし、分解整備後お届け取付け試運転まで行います。

★上記にないタイプはお問合せをお願いします。

★ストーブ分解整備は3～4年ごとが目安です。



円筒ガラスの曇り、燃焼ポット内部のススを除去して燃焼効率UP！灯油の消費量も軽減！



ご依頼、お問合せは各地区の給油所までご連絡をお願いします。

音江セルフ給油所 (0164) 25-2720

納内給油所 (0164) 24-3311

深川セルフ給油所 (0164) 23-2456

多度志給油所 (0164) 27-2115

イチヤンセルフ給油所 (0164) 22-1391

北竜和給油所 (0164) 34-2541

※雨竜地区は北竜和給油所へご連絡をお願いします。

幌加内給油所 (0165) 35-2001



新風



農家後継者



氏名 浅井 裕貴 さん
年齢 24歳
就農年 平成30年4月
地区 深川支所 納内地区
経営主 浅井敬司 さん
経営面積 16・9 ha
(水稲)

☆目指す農業

大学入学時は一般企業への就職を考えていましたが、20歳頃から、幼少の時より身近に感じてきた農業への思いが強くなり、就農する決意を固めました。

現在は、明確な将来のビジョンは見えていませんが、経営面積を増やし、他の人が取り組んだことのない作物に挑戦したいと考えています。

まだまだ未熟者ではありますが、青年部活動など様々なことを通して農業者として成長していきたいと思しますので、皆様のご指導よろしくお願い致します。

農家後継者



氏名 庄司 拓巳 さん
年齢 22歳
就農年 平成31年4月
地区 深川支所 納内地区
経営主(株) 庄司農場
代表取締役 庄司俊光 さん
経営面積 70 ha
(水稲・秋小麦・そば・花き・果樹)

☆目指す農業

大学卒業後の進路を一般企業へ就職するか就農するか悩んでおりましたが、友人達が味わうことの出来ない職に就きたいと考え就農することを決意致しました。

将来的には、父が経営する法人を引き継ぎ、従業員さんが更に働きやすくなる労働環境を構築したいと考えております。また、僕のように進路に悩んだ時に農業が就職先の選択肢となるよう、魅力ある農業体系を作る農家になりたいと思います。

まだまだ未熟者ではありますが、皆様のご指導宜しくお願い致します。

【新規就農希望者受入農家・新規就農希望者募集】

JAきたそらちでは、新規就農希望者を受け入れていただける生産者を募集しております。興味がある方は、下記にお問い合わせ願います。

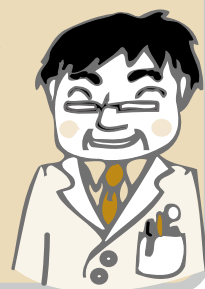
また、JAホームページ・新農業人フェア等で新規就農者の募集も実施しておりますので、お気軽にご相談下さい。

- ◇ お問い合わせ先：農業振興部 営農企画課【TEL：0164-26-0134】
- ◇ ホームページ：<http://www.ja-kitasorachi.com/farmer/index.html>

健康百科

急性白血病

たかはし内科消化器内科 院長 高橋 公平



健常な場合の白血球の作られ方ですが、骨髄で幹細胞から造血前駆細胞を経て分化・成熟した白血球となり、血液中に出てきます。しかし、急性白血病では造血前駆細胞の遺伝子異常により分化・成熟能が障害された幼稚な芽球（白血病細胞）が骨髄内で増殖します。病初期は増殖した白血病細胞は骨髄にとどまりますが、正常造血が障害されるため、末梢血における白血球数は減少します。進行に伴い、白血病細胞が末梢血にあふれるようになると、白血球数は増加に転じますが、末梢血白血球の大部分は白血病細胞が占めることになります。

急性骨髄性白血病は幼稚骨髄系細胞が増殖する造血器腫瘍で、50歳以上の男性に多く、その中でも急性前骨髄性白血病は分化誘導療法により予後良好です。それ以外の急性骨髄性白血病には多剤併用化学療法により寛解導入療法を行い、80%は完全寛解に至りますが、再発を防ぐため、地固め療法を行います。再発例は予後不良で、可能であれば、同種造血幹細胞移植を行います。

急性リンパ性白血病はリンパ芽球が増殖する造血器腫瘍で、小児や高齢者に多く、小児のほとんどは予後が良好です。しかし30歳から35歳以上の高齢者では予後が不良です。治療は急性骨髄性白血病と同様の寛解導入療法、地固め療法を行います。そこで予後を予測し、経過観察、維持療法、造血幹細胞移植のいずれかを決定します。

急性白血病は正常な白血球・赤血球・血小板全てが減ることによる易感染性や出血傾向または末梢血液検査で芽球（白血病細胞）が認められることなどにより発見されます。風邪や咽頭炎などと思っいても治りが悪い場合や、血がとまりにくいなどの症状があれば急性白血病の可能性もあるので、近くの医療機関を受診しましょう。

転載不可

JA グループ通信

JA 北海道中央会



NHK連続テレビ小説「なつぞら」をご覧になっていますでしょうか？JA北海道中央会のフェイスブックページでは、4月23日より「なつぞらに関する投稿」を不定期ながら発信しています。

ドラマでは当時の農業や農村の様子だけではなく、農協（JA）についても、取り上げられていることから、北海道農業をサポートするJAグループ北海道として、ドラマの感想も含め、関連する北海道農業・酪農の歴史や魅力、JAに関する歴史・話題などをお届けしてゆく予定です。フェイスブックにて検索頂きJA北海道中央会のページに「いいね!」「ページをフォローする」をタップ頂きますと、記事が表示されるようになりますので、ご覧いただけると幸いです。フェイスブックページで「JA北海道中央会」で検索するか、または、こちらのアドレスからどうぞ

⇒ <https://www.facebook.com/jahokkaido>



JA 北海道信連



JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛を行い、今年で4年目となります。ゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴを掲出し、特設ブースには新キャラクター「よりぞう」も駆け付け、一緒に写真撮影をされた方に「よりぞう」シールをプレゼントしました。

「よりぞう」が登場すると、たくさんの子供たちに囲まれ、大会を大いに盛り上げました。



JA 共済連北海道



JA共済連では、道内の8校（中・高等学校）にて、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する（スケアード・ストレイト教育技法）自転車交通安全教室を開催します。

JA共済連は、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております。



ホクレン



ホクレンは創立100周年を迎えた4月18日、札幌パークホテルにて会員JA・取引先をはじめとする皆様にご臨席いただいて記念式典を開催し、続けて祝賀会も開催しました。祝賀会では100周年の節目にあらためて設定したホクレンの経営理念～わたしたちは生産者のための協同組合として会員JAと連携した事業を通じ、共生の大地北海道から、「農」と「食」の未来を担います～が内田会長より発表されました。



JA 北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



経済部 燃料課からのお知らせ

7月1日～
8月31日

ホクレンSS
サマーフェア
2019

北海道 ドライブMAP プレゼント!

店頭給油
50ℓ分の
レシートで



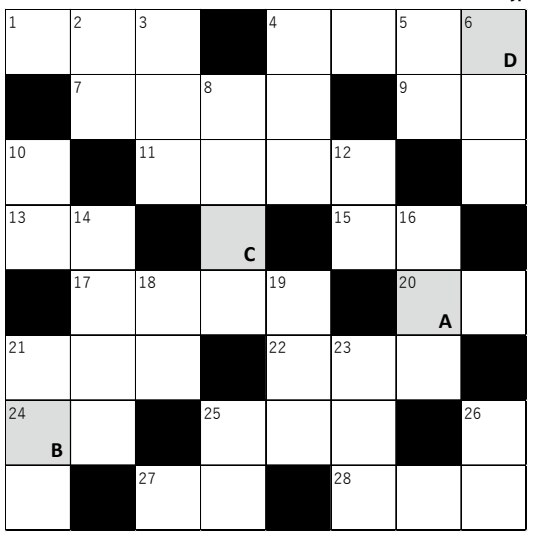
車に
1冊あると
便利・安心!



※景品は十分にご用意しておりますが、万が一品切れの場合はご了承ください。※店頭給油の対象油種はガソリン・軽油です。
※7月～8月の期間中レシートの合算で引換えます。引換え済レシートの再使用はできません。(端数の持越しもできません。)

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D

5月号の正解は
「レイワ」でした。
正解者の中から抽選で3名が選ばれました。
深川市 金森テル子 様
深川市 岡田 幸子 様
深川市 藤川 昌子 様

【タテのカギ】

- 動物を飼ったり、捕らえたりするために使う食べ物
- 天の川、星が集まったように見える場所
- 謝ることや許可を取る事、〇〇〇を請う
- 絵画を制作する人、絵描き
- 水田や池沼に生息する淡水産の巻貝
- ダイビングする人、潜水士
- 液体が空気を含んで丸くなったもの、パブル
- 周りの土地よりも大きく盛り上がっている地形
- 主にスポーツで、勝ちの数が負けの数より多くなること
- 自分の家に帰ること
- 常温で液体の油と常温で固体の脂肪の総称
- ワインの原料となる夏の果物
- 海に面し、船が入りしり安全に停泊するための場所
- 防暑、防寒、装飾を主な目的として頭にかぶるもの
- 消し〇〇、輪〇〇
- 獣から作物を守るため木や竹を組んで作る囲い、フェンス

【ヨコのカギ】

- 草木などが倒れないように支える木を添えること
- 日が暮れ始めて夜になるまでの間
- 足全体を包まず、紐やバンドなどで足に止める履物
- 堅い甲殻とハサミをもつ甲殻類
- 外国製の自動車
- 奈良時代に発生した日本固有の詩歌
- キャンプの時に燃やす、燃料用の割り木
- タイヤの中に入っている管
- 新しく木や草の芽が生えてくるものになるもの、種子
- 神様の乗り物、祭などで担ぐ
- 土石・木材・鉄材を使い、道路や橋などを建設する工事
- 8月～9月に旬を迎える果物、ありの実とも
- 激しい勢いで降る大量の雨のこと
- 豚肉を塩漬にし、くん製にした加工食品
- したたり落ちる水や液体が粒状になったもの

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。
締切7月31日消印有効で当選者とクイズの答えは9月号に掲載します。
【送付先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号
JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

六月俳句

●雨電俳句会

空き家にもさかりに咲ける黄水仙
春玉子割れば遠のく昭和かな
ほつほつと土筆の道の童うた
夏めくや素肌を夜の心地よし
鯉幟一匹増えて令和なる
たつぷりと季節盛り込み逢餅
独り言ひよいと顔出す雨蛙

●「道」俳句会 北電支部

穏やかな眼行き交う田植え終え
苗木市値切り上手へ湧く拍手
連日の南風に算段なき農夫
辛夷咲く良い作況へ花数多
美声にも罵声にも聴く雨蛙
持ちきれぬ初夏の光をダム放つ
朔北やこの村終と蝸牛
郭公や子の引越しの依頼なし

●土筆俳句会

空知野にこゑふりこぼすあげ雲雀
森林浴見え隠れしてチセの屋根
余生てふ少しすっぱきところてん
花曇傘を持とうか持つまいか
メール来て紫陽花が来て孫が来て
蒲公英や下校の子らの声高く
苗頭起立一声初夏の風
戻り来ぬ母の忘却杉葉抜く

有田 茉莉
大林アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松本 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

山本 玲子
阿部れい子
吉尾 広子
山岸 正俊
山下 好晴
佐光久美子
杉本 隆文
高田 紀子

高尾美津子
池田 美知
坂本 朱実
引地紀代子
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
小橋 厚子

第6回理事会 〈令和元年6月5日開催〉

1. 関係団体等諸会議について
2. 組合員の加入脱退について
3. 財務報告及び事業実績について
4. 平成30年度 農協経営分析について
5. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
6. 固定資産の取得について
7. 職員の人事について
8. 貸付金の貸出実行報告について
9. JAバンク及びJA共済相談・苦情等対応状況に係る定期報告について
10. 平成30年度JAグループ北海道「担い手確保・育成支援事業」の申請状況について

議案第1号 内部監査規程の一部改正について

議案第2号 令和元年度 コンプライアンス・プログラムの設定について

議案第3号 信用事業及び財産の状況に関する説明書類の縦覧について

議案第4号 職員の夏期手当の支給について

議案第5号 出資金の持分譲渡について

議案第6号 固定資産の修繕について

11. 農業人材バンクの経過について
12. 主要農作物生育概況（5月15日現在）について
13. 水稻病虫害防除推進方針について
14. 令和元年度 畑作物試験研究計画について
15. 令和元年度 種子馬鈴薯圃場検査について
16. 小麦集荷に係る職員配置（案）について
17. 畜産販売実績について
18. 青果・花き集荷販売実績について
19. 平成30年度 元気村花き施設収支決算及び令和元年度事業計画について
20. 経済部事業実績について
21. 令和元年度 営農用燃料油の特別対策について
22. Aマートふかがわ店について

議案第7号 理事に対する貸出承認について

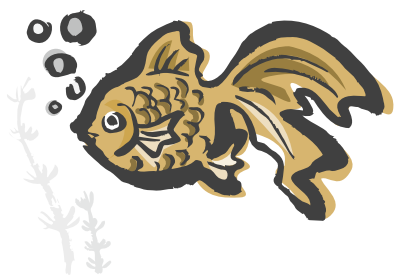
議案第8号 クミカン貸越極度額の変更について

議案第9号 令和元年産米の取扱について

議案第10号 令和元年産 特定米穀出荷契約及び予約前渡金について

議案第11号 令和元年産 「玄そば」の取扱について

議案第12号 令和元年産 農産物予約前渡金及び概算金について



組合員の動き

(令和元年5月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,402	7	20	1,389
	団体	85	0	0	85
准組合員	個人	5,988	35	31	5,992
	団体	329	1	0	330
正組合員戸数		1,015	1	10	1,006



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和元年5月実績

○累計（H30.12～R1.5）

発電電力 **73,375kWh**

発電電力 **257,310kWh**

計画対比 + 18,063kWh

計画対比 + 71,657kWh

前年対比 + 9,260kWh

前年対比 + 15,982kWh

金融共済部 融資課からのお知らせ

新車・中古車・バイクの購入
車検・修理の費用、運転免許の取得に！

JAローンキャンペーン!!

JAマイカーローン

キャンペーン期間
令和元年9月30日まで

キャンペーン対象条件

- ・正組合員および准組合員の方
または
新たに准組合員になれる方

＜借入対象者＞
・地域に格差し、継続して安定した勤務先からの収入がある方
＜必要書類＞
・運転免許証等・健康保険証等・源泉徴収票等・見積書等・その他JAが必要とする書類

さらに! ①～④をご利用中または新たにご利用で、
キャンペーン利率から、

1項目ごとに 0.10% 引き下げ!

① 給与振込 ② 公共料金の口座振替
③ JAカード ④ JAローン

現在の店頭貸出利率
年 3.00%

キャンペーン利率
2.20% ~ 1.80%

※保証料込(北海道農業信用基金協会保証の場合) ※変動金利

入学金や授業料
仕送り
アパート家賃に!

JAローンキャンペーン!!

JA教育ローン

キャンペーン期間
令和元年9月30日まで

キャンペーン対象条件

- ・正組合員および准組合員の方
または
新たに准組合員になれる方

＜借入対象者＞
・地域に格差し、継続して安定した勤務先からの収入がある方
＜必要書類＞
・運転免許証等・健康保険証等・源泉徴収票等・納付通知書・貸付通知書・保証証等
・その他JAが必要とする書類

詳しくは
お気軽にお問い合わせ下さい!

現在の店頭貸出利率
年 3.00%

キャンペーン利率
2.20%

※保証料込(北海道農業信用基金協会保証の場合) ※変動金利

JAきたそらち

本所	TEL 0164-22-6618	多度志支所	TEL 0164-27-2111
音江支所	TEL 0164-25-1111	雨竜支所	TEL 0125-77-2331
深川支所	TEL 0164-22-2171	北竜支所	TEL 0164-34-2280
納内支所	TEL 0164-24-2211	幌加内支所	TEL 0165-35-2024